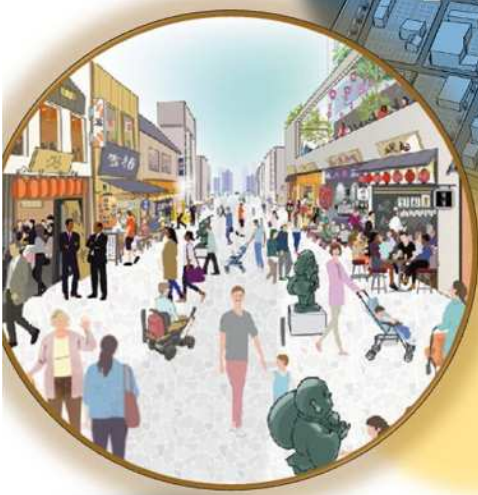


(案)

資料3



# 新潟駅・ 万代地区周辺 将来ビジョン



2023年3月  
新潟市

本市は2019年1月に開港150周年を迎えました。これを契機に、本市の都心が形成されるまでの都市構造の変遷を振り返り、これからの150年を見据えたまちづくりの方向性を示す「新潟都心の都市デザイン」を2018年に策定しました。さらに2020年には都心エリアを「にいがた2km」と名付け、新潟駅周辺から万代地区、古町地区、万代島地区へとつながる都心軸を中心としたエリアの一体的なまちづくりに取り組んでいます。

「新潟駅・万代地区周辺」は、県都である新潟市の陸の玄関口として新潟駅や万代シティバスセンターなど広域交通の結節拠点の機能を有し、多様な企業が集積するビジネス街でありながら、少し足を伸ばせば、みなとまち新潟を象徴する信濃川と豊かな水辺空間が広がり、大規模商業施設や魅力ある店舗が数多く立地する、賑わいあふれる地区です。

近年は、新潟駅の約60年ぶりのリニューアルが着々と進むとともに、30年近くにわたり、取り組んできた新潟駅周辺整備事業も最終盤を迎え、2022年6月に在来線の全線高架化が完了したほか、新しい万代広場も2023年から段階的に供用開始していきます。



## 目次

### I 都市の成り立ち

- 1 都心軸と都市形成 ..... 1
- 2 新潟駅・万代地区周辺の成り立ち ..... 2

### II 新潟駅・万代地区周辺の将来ビジョン

- 1 位置づけ ..... 3
- 2 役割 ..... 4
- 3 目標年次と対象エリア ..... 4
- 4 キーワードの整理 ..... 5
- 5 将来ビジョン ..... 7

### III 将来ビジョンの実現に向けた方針

- 1 5つの方針 ..... 14
  - 方針1 歩行者空間づくり ..... 15
  - 方針2 基盤づくり ..... 16
  - 方針3 安心・安全な環境づくり ..... 17
  - 方針4 魅力づくり ..... 18
  - 方針5 仕組みづくり ..... 19

また、都心軸周辺では、万代シティが約50年ぶりにリニューアルされたほか、民間ビルの建替えが複数進捗し、2021年9月に国から都市再生緊急整備地域に指定されたことも追い風となり、全国の開発業者や投資家の視線が本市の都心へ向き始めています。

都市構造の大きな転換期を迎えている今、この好機を捉え、本市が「選ばれる都市」となるためには、「にいがた2km」の一翼を担う「新潟駅・万代地区周辺」のまちづくりの関係者や、市民の皆様と将来ビジョンを共有し、連携して取り組んでいく必要があります。

この「新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン」が目指すのは、「人を中心とする新しいまちづくり」。あなたの居場所がある、あなたと何かがつながるまち。ストリートごとの歴史や文化など、これまでの成り立ちや特色を大切に、新たな出会いや交流により、新しい魅力と価値が生まれ、新潟への愛着と誇りを醸成するようなまちを目指しましょう。



<b>IV</b> ストリートごとのウォークブルな将来の姿	21
<b>V</b> 将来ビジョンの実現に向けて	
1 将来ビジョンの実現に向けた体制	33
2 将来ビジョンの実現に向けたまちづくり推進プロセス	34
(仮称) 新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン懇談会について	36
用語集	38

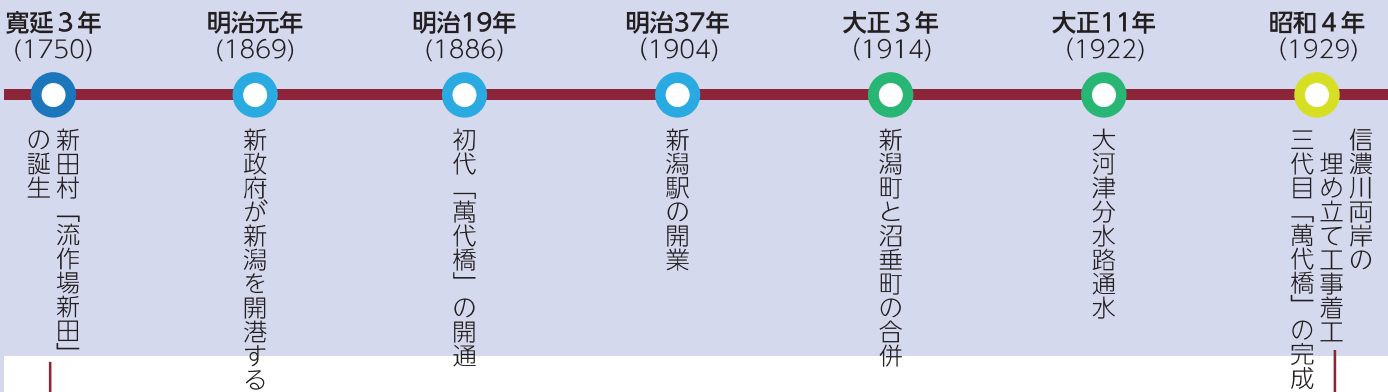
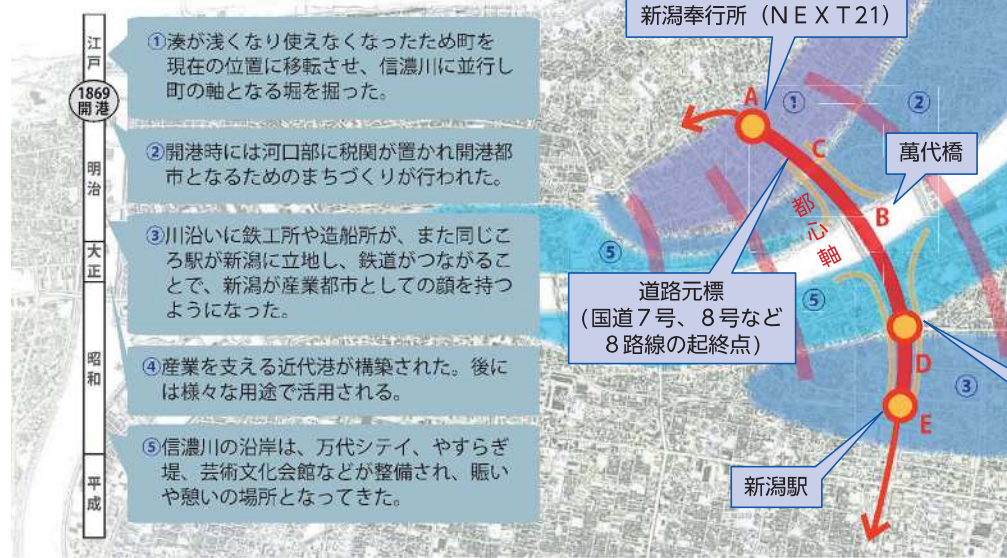
# I 都市の成り立ち



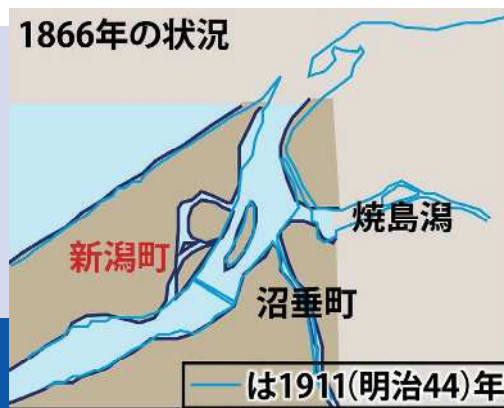
## 1 都心軸と都市形成

- 都心において、縦の軸として代表的かつ重要な軸が「都心軸」です。かつて奉行所があった古町から萬代橋、東大通、新潟駅へと150年かけて形成されてきた不動の軸を中心とした都心エリアは、江戸時代より湊町として栄えた歴史文化を色濃く残しながら、信濃川がもたらす魅力的な水辺の景観とともに、業務、商業、交流、広域交通の中心拠点として発展を遂げてきました。
- 今後も、この都心軸が次世代のアイデンティティとなるよう、都心のまちづくりを進めていくこととしています。

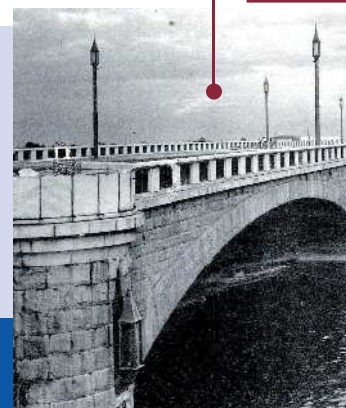
信濃川の恵みにより発展してきた新潟は、川がもたらす砂と水への対応を通じて、都心が信濃川に沿って層状に広がってきました。  
(横の都市づくり：①→②→③→④→⑤)



延享4年 (1747)  
図 延享4年 (1747) 沼垂新潟増減立会絵図写 (部分)  
[新潟市史] 通史編2 近世(下)から作成、一部改変



慶応2年 (1866)



二代目萬代橋の隣に新しく架けられた 三代目萬代橋



## 2 新潟駅・万代地区周辺の成り立ち

一方で、信濃川の流れに向かって、垂直に交わる「都心軸」を形成し、エリアのつながりを深めることで、新潟の都心は発展の礎を築いてきました。

(縦の都市づくり：A→B→C→D→E)



**A** 小路：信濃川や堀に直交する小路を導入した。碓谷小路は町の中心にあった奉行所と町会所とをつなぐ小路で、新潟町と沼垂町をつなぐ交通は舟運によるものだった。

**B** 萬代橋：新潟町と沼垂町とをつなぎ、その後の新潟の発展の礎を築いた。

**C** 碓谷小路：萬代橋と新潟の奉行所跡をつなぎ、初期の都市計画で新潟の軸とされた。

**D** 東大通：新しい新潟駅と、旧萬代橋東詰を結ぶ大幅員道路として設計され、陸の玄関口のメインストリートとなった。

**E** 新潟駅：高架化によって新潟駅南北の市街地が一体化し、さらなる拠点性の向上をめざす。

旧萬代橋起点  
(流作場五差路)

(出典：新潟都心の都市デザイン)

- 信濃川の中州が寄り付いて成長し島となり、陸地へと変わっていき、1750年に新田村「流作場新田」が誕生しました。
- 1866年に初代萬代橋が開通し、1904年には信濃川沿い（現在の弁天公園付近）に新潟駅が開業しました。この頃、流作場新田は流作場に改称され、新潟町と沼垂町をつなぐ場としての機能が拡充されていきます。
- 1929年には、三代目萬代橋の完成とともに信濃川兩岸の埋立工事が行われ、現在の万代シテイに道路等の都市基盤が整備されます。
- 1954年には新潟駅前土地区画整理事業が着工し、1958年に新潟駅が現在の位置に移転。1959年には新潟駅裏土地区画整理事業の着工と都市基盤の整備が拡大され、周辺地域とのつながりにより発展してきました。
- 現在、約60年ぶりとなる新潟駅のリニューアルが進行中です。南北市街地の一体化、円滑な交通環境の確保、さらなる賑わいの創出など都心のまちづくりは次のステージへ踏み出します。

昭和29年  
(1954)



新潟駅前  
土地区画整理事業着工

昭和33年  
(1958)



新潟駅  
現在の場所へ移転

昭和34年  
(1959)



新潟駅裏  
(今の南口)  
土地区画整理事業着工

昭和47年  
(1972)



関屋分水路  
通水

昭和48年  
(1973)



万代シテイ  
オープン

令和4年  
(2022)



万代シテイのリニューアル  
新潟駅全線高架化

進行中



万代広場の整備  
新潟駅舎リノベーション



橋代高野新田  
Niigata-ishi.



昭和25年 (1950) 頃



昭和44年 (1969) 頃



昭和53年 (1978) 頃

※上図は地理院地図 GSI Maps (国土地理院) の航空写真上に、目視できる街路を着色したもの

# II 新潟駅・万代地区周辺の将来ビジョン

## 1 位置づけ

○本ビジョンは、以下のとおり位置付け、新潟駅・万代地区周辺エリアの将来の姿や方向性をより詳細に示すことで、市民、事業者、行政と広く共有するものです。

新潟市全体のまちづくり

●新潟市総合計画

●新潟市都市計画基本方針  
(多核連携型の都市像)

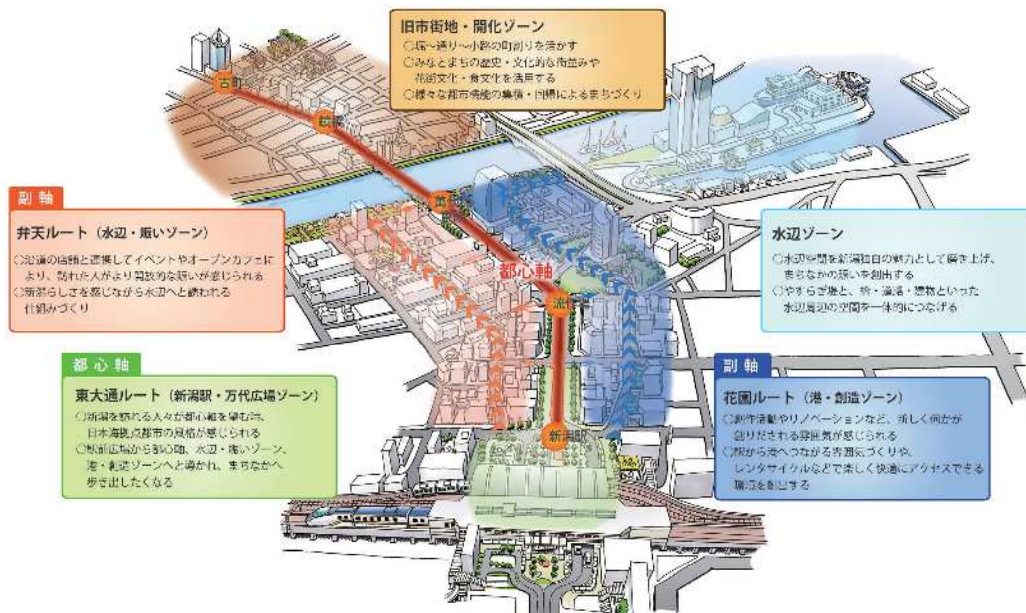
●新潟市立地適正化計画  
(コンパクト・プラス・ネットワーク)

都心のまちづくり

●新潟都心の都市デザイン

開港から150年をかけて形成されたきた不動の軸（新潟駅～古町）を、次世代のアイデンティティとしていく

### ■新潟都心の都市デザイン



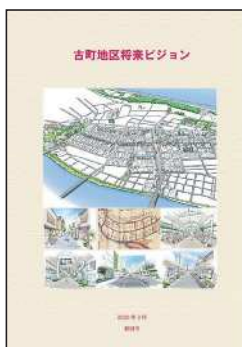
### 都心のまちづくり【「にいがた2km」の覚醒】

#### 【基本方針】

- I. 人・モノ・情報の中心拠点となる 稼げる都心づくり
- II. 都心と8区の魅力・強みのコラボレーションによる 新たな価値の創造
- III. 居心地が良く、市民が主役になるまちづくり



#### 古町地区将来ビジョン



新潟駅・万代地区周辺  
将来ビジョン

#### 万代島地区将来ビジョン



## 2 役割

○本ビジョンは、以下の役割を担います。

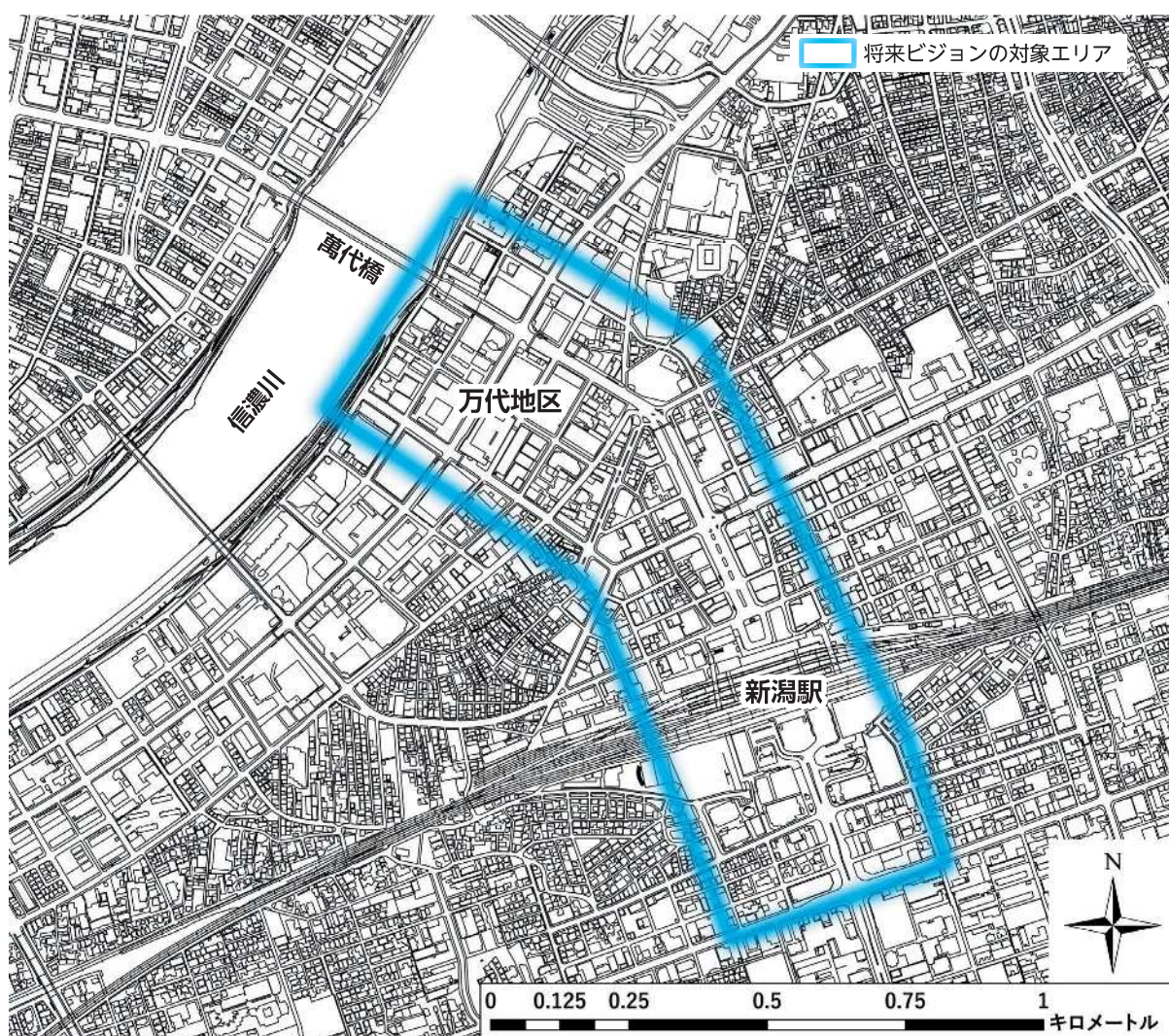
エリアの目指すべき将来の姿を共有することにより、まちづくりに対する意識と「自分ゴト」としての認識を醸成していくもの

エリアに関わる当事者が、事業や取り組みを進めるうえでの「道しるべ」にしていくもの

## 3 目標年次と対象エリア

○概ね**20年後**を目標年次にします。

○対象エリアは**新潟駅および万代地区の周辺を含む以下のエリア**とします。



## 4 キーワードの整理

○新潟駅・万代地区周辺では、新潟駅周辺整備事業による南北市街地の一体化や、都市再生緊急整備地域の指定による開発事業への気運の高まりなど、都市構造が大きく変わる節目を迎えています。一方、エリア関係者による連携意識が芽生えているものの、活動の受け皿となる連携体制が不十分であるといった課題も見えてきています。

### 現状

#### 新しい生活様式

- ・新たなライフスタイルへの転換と価値観の変化
- ・選ばれる都心としての魅力発信の好機など

#### 都市再生

- ・居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりの推進
- ・まちづくりと連携した駐車場施策への転換 など

#### 防災

- ・災害・感染症等に対応した安心・安全な都市環境 など

#### SDGs

- ・SDGsの推進 など

### 課題

#### 土地建物

- ・建物の老朽化の進行
- ・低未利用地の増加（都市のスポンジ化）
- ・地価の停滞

#### 交通

- ・交通環境の整備が不十分（鉄道による市街地の分断など）
- ・多様な交通モード間の連携が不十分

#### 公共空間

- ・居場所となる空間や緑の空間が少ない
- ・歩行者中心の道路空間が少ない
- ・公共空間の活用が不十分
- ・冬季など新潟の気候や異常気象の対応の強化が必要

#### 組織

- ・エリア間の連携意識は芽生えているが、連携体制は強化が必要

### 方向性

#### 公共空間

- ・道路や公園、広場など公共的空間を効果的に活用
- ・多様な人々が出会い、交流が生まれる居心地の良い空間を創出 など

#### 都市機能

- ・建物の更新にあわせ、新たな時代に対応した高次都市機能の誘導
- ・エリアの特性を踏まえた戦略的な土地利用
- ・エリア内外の企業から選ばれるビジネス拠点の形成 など

#### 交通

- ・安全で快適に楽しく移動できる環境づくり（回遊性の向上）
- ・「歩行者・公共交通・自動車・自転車・新たなモビリティ等」の適切なバランス
- ・都心にふさわしい交通環境 など

#### 先端技術

- ・先端技術の導入によるビジネスの生産性向上や、ライフスタイルの質の向上 など

#### エリア活動

- ・エリア内の多様な人材のつながりを醸成
- ・それぞれの強みを活かしながら、まちづくり活動を継続的に担う仕組みづくり など





- また、都市間競争の激化や若年層の県外流出、デジタル化の進展、ウィズコロナ・アフターコロナへの対応といった時代の潮流も踏まえながら、エリアの魅力と価値を向上させ、本市が「選ばれる都市」となるために将来ビジョンを共有し、官民連携によるまちづくりを推進していく必要があります。
- 改めて、時代の潮流などの「現状」を捉え、エリアの「課題」と「強み」を整理します。

### Society 5.0

- ・DXや新たな産業創出 など

### 環境

- ・環境や社会に配慮した投資など環境意識の高まり など

### 関連道路

- ・新潟駅付近連続立体交差事業に伴う道路整備
- ・万代島ルート線の整備による都心部の通過交通の転換 など

## 強み

### 基盤再編

- ・新潟駅周辺整備事業の推進
- ・万代シティリニューアル
- ・都市再生緊急整備地域の指定
- ・公民連携スマートシティの推進
- ・中・長距離バスターミナルの進捗
- ・次世代通信環境の整備

### 地域資源

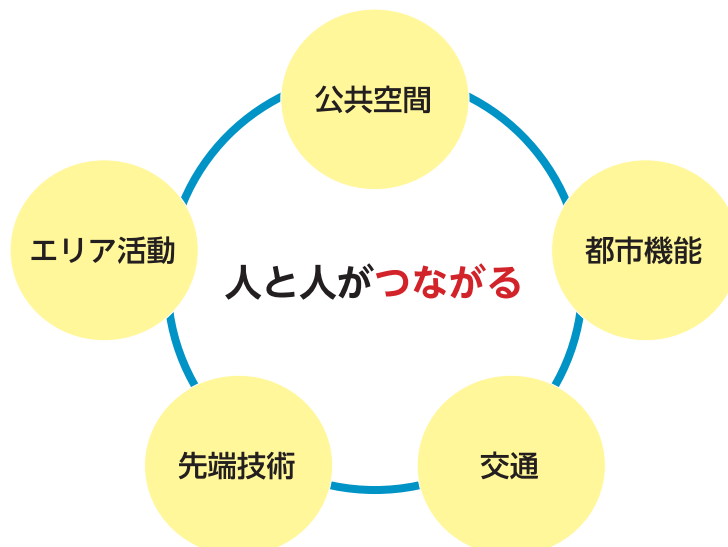
- ・新潟のシンボルである萬代橋とその遺構
- ・信濃川の魅力的な水辺空間（信濃川やすらぎ堤、万代テラス等）
- ・みなとまち、マンガ、アニメ文化などを支える市民力

### プレイヤー

- ・多様な民間のプレイヤーが存在
- ・プレイヤー間の連携意識が芽生えている
- ・道路や水辺等の公共空間の活性化

## キーワード「つながる」

方向性に沿ったまちづくりを進め、人と人が「つながる」をキーワードに新潟駅・万代地区周辺の将来ビジョンを描きます。



## 5 将来ビジョン

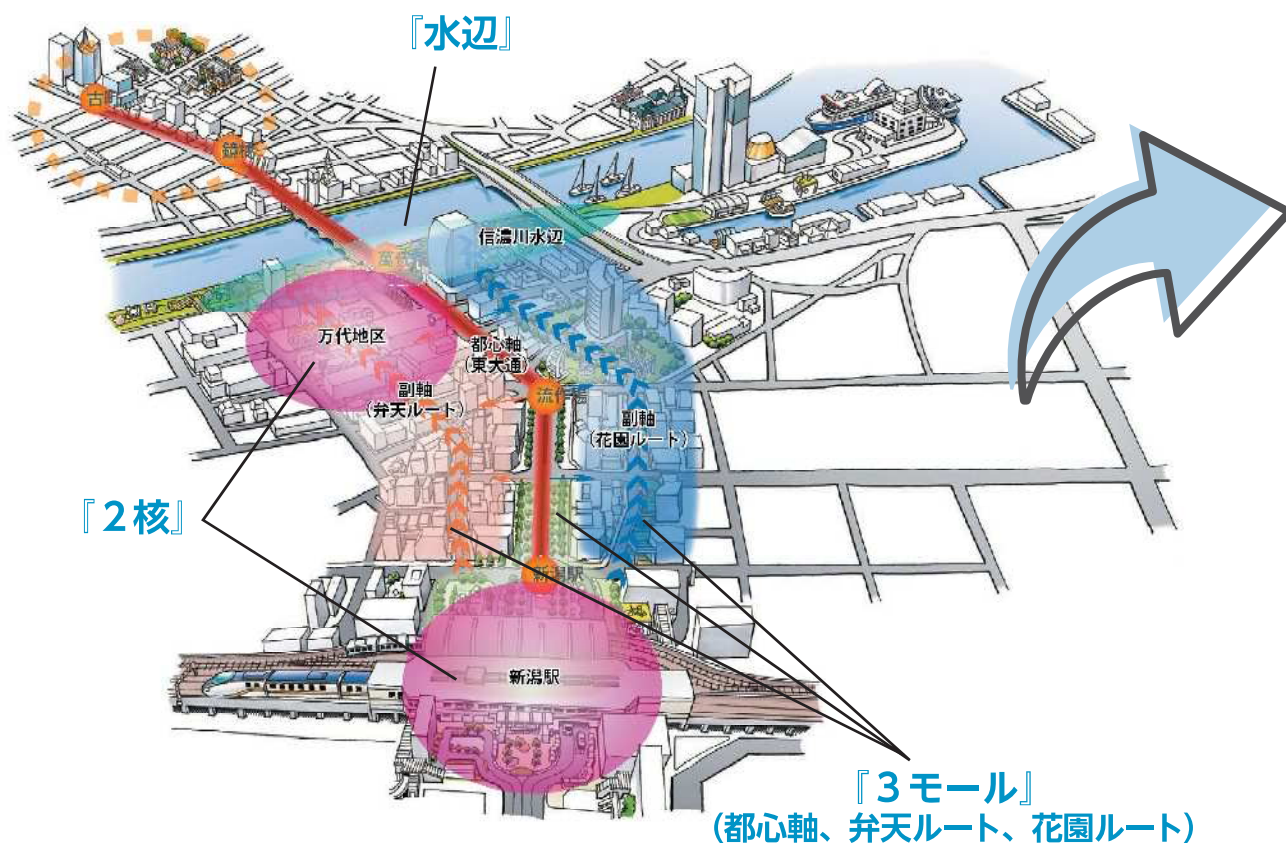
新潟駅・万代地区周辺を新たな魅力・価値が創造される『人中心のまち』へ

# つながる『2核・水辺・3モール』

新潟市の陸の玄関口である「新潟駅周辺」と商業施設が集積する「万代地区周辺」の『2つの核』と、本市が誇る豊かな『水辺空間』、そして、開港から150年かけて形成されてきた不動の軸である都心軸と両副軸の『3モール』が有機的につながることによって、多様な人々が出会い交流が生まれ、新たなイノベーションから魅力や価値が創出される『人中心のまち』を目指します。

その実現に向け、特色ある10のストリーートの将来の姿を描き、磨き上げ、それぞれを「つなげる」ことで、エリア全体の魅力と価値を相乗的に高めていきます。

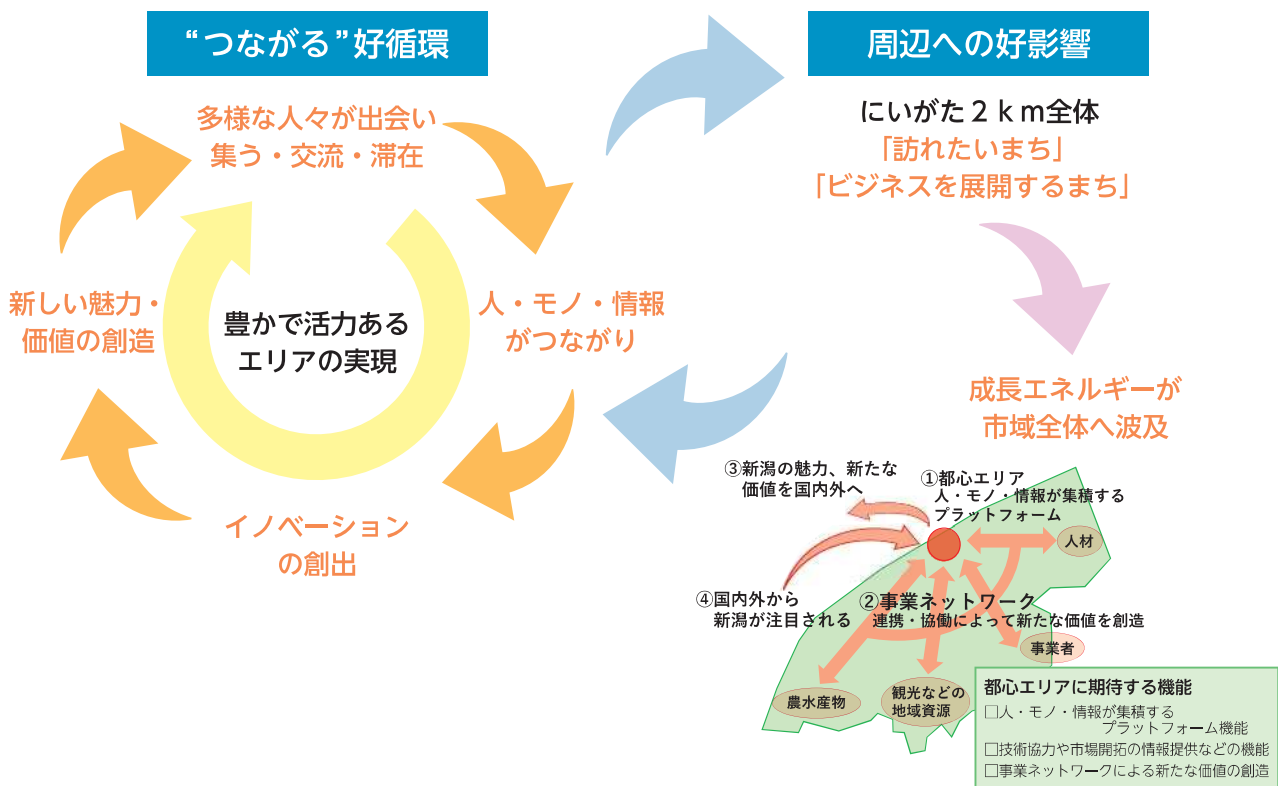
新潟駅・万代地区周辺を「特色ある10のストリート」でつなぎ、





(万代シティ中心エリアリニューアル企画書より)

## 新たな魅力・価値が創造される『人中心のまち』へ



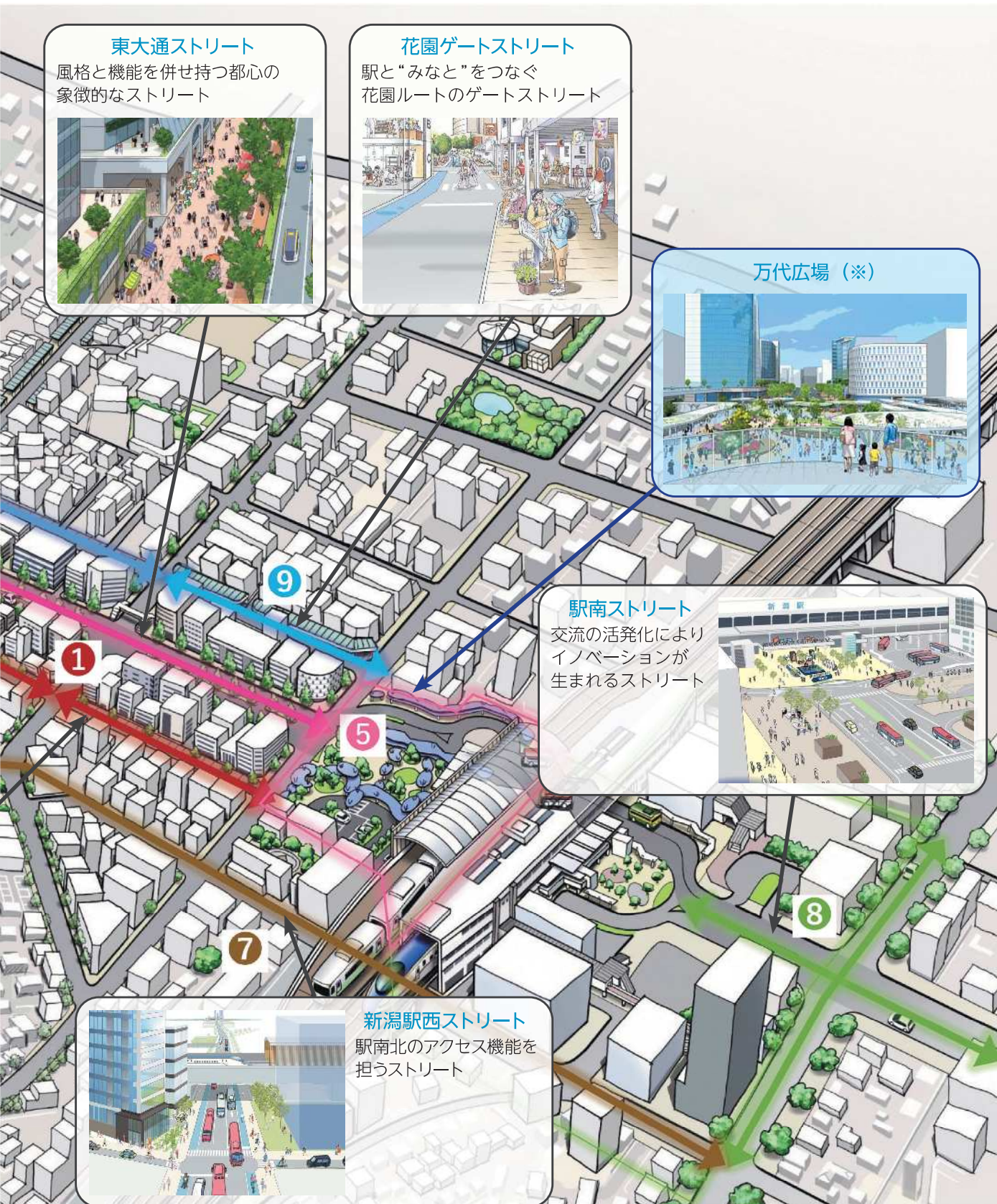
都心の成長エネルギーが市域全体へ波及することで市域全体が活性化するとともに、多様な人材や関係人口とのつながりが深まり、さらに魅力あるエリアに成長していく、そのような好循環を生み出していくことを目指します。

# 特色のある10のストリーットの将来の姿





10のストリートの成り立ちや特色などを活かしながら、『人中心のまち』としてエリア全体が有機的につながった将来の姿を描きます。



**東大通ストリート**

風格と機能を併せ持つ都心の象徴的なストリート

**花園ゲートストリート**

駅と“みなと”をつなぐ花園ルートのゲートストリート

**万代広場 (※)**

**駅南ストリート**

交流の活発化によりイノベーションが生まれるストリート

**新潟駅西ストリート**

駅南北のアクセス機能を担うストリート

※万代広場は東大通ストリートに含まれます

○将来の新潟駅・万代地区周辺で、様々な人たちが過ごすある一日のシーンを描いてみました。

## A 仕事・子育て・自分の時間を大事にするファミリー

①朝は快適な自転車ルートで子供を送る。



②駅前のコワーキングスペースで資料の整理とWeb会議。



③お昼は駅前広場のキッチンカーで新米おにぎり弁当を購入。緑と花に囲まれ、ピクニック気分を楽しむ。



④今日の子供のお迎えはパートナー。私は夕暮れの信濃川でサップヨガ。



⑤万代でゆっくりと夕食のお買い物。



⑥帰り道、偶然、ほこみちストリートコンサートを見つけ、楽しむ♪



## B 休日のファミリー

①電車で新潟駅へ。高架下交通広場（駅直下バスターミナル）は多方面への乗り換えが分かりやすく、便利。



②東大通はリニューアルされ、居心地がよく歩いて楽しい。



③万代シティの大道芸を見て、アプリで投げ銭。ついでにVR店舗で気に入った商品を購入。



④やすらぎ堤のオープンカフェでランチ。アプリでフードを注文。ドローンがお届け。



⑤旧新潟駅前通は公園みたいに居心地がよい。偶然、友人家族とバッタリ。ついつい長居する。



⑥帰りはバスで帰宅。今度は、水辺キャンパスで1泊してもいいかも♪





## C セカンドライフを楽しむ夫婦

- ①マンション近くの万代テラスで朝の体操に参加。コーヒースタンドで一息。
- ②新しいモビリティでランチにお出かけ。最近この通りが変わってきて楽しい。
- ③最近見つけたお店でランチ。支払いは顔認証決済だから、財布なしでOK!



- ④地域に開放されたキャンパスで、まちづくりワークショップに参加。
- ⑤旧新潟駅前通で一休み。新しい出会いが楽しい。
- ⑥帰りにストリートマーケットで買い物。あとは、宅配ロボットにお任せ。



## D 新潟で学ぶ学生

- ①朝、やすらぎ堤でジョギング。ジョグポートで着替えて通学。
- ②駅近くのサテライトキャンパスで、地元しながら最先端の授業を受ける。
- ③友達と最近オープンした地産地消のお店でランチ。支払はキャッシュレス。



- ④授業の終わりに万代でショッピング。ARでまちなかアートを楽しむ♪
- ⑤新潟駅周辺のイルミネーションを堪能。
- ⑥帰りに24時間無人店舗へ。品揃えもよく、好きな時間に利用できる。

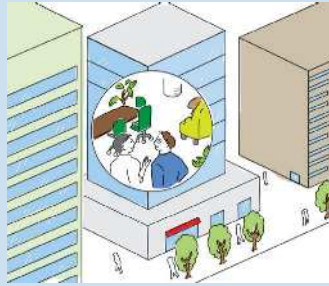


## E 新潟に進出してきたIT起業家

①オフィスまでシェアサイクルを利用。  
専用アプリでラクラク予約♪



②東大通は高機能な新しいビルが多い。  
起業する仲間と新しいオフィスの下見へ。



③新たなビジネスチャンスを探り、フードテックセミナーに参加。移動はいつものキックボードでスマートに♪



④仕事後、駅前広場で仲間と一緒にアルビの試合をパブリックビューイング。



⑤駅前のお店で盛り上がり、試合の余韻に浸る。勝利の後の地酒は格別。



⑥萬代橋からの夜景と心地よい川風を感じながら帰宅。



## F 新潟を訪れた観光客

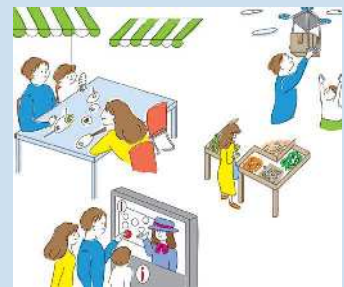
①早速「いがた2km」アプリで行き先をチェック。MaaSも活用してスムーズに乗り継ぎ。



②高架下交通広場（駅直下バスターミナル）からBRTに乗車。楽しみにしていた古町観光へ。



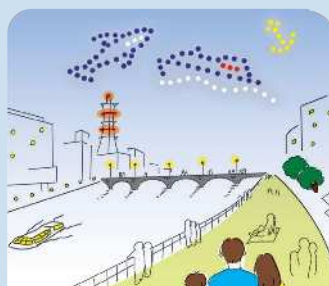
③シェアサイクルでピアBandaiへ。購入したものはドローンで配送。AIデジタルサイネージで気軽に最新情報をGET！



④信濃川沿いを歩いてやすらぎ堤へ。これが重要文化財の萬代橋か〜。ミズベリングで休憩。



⑤夜はドローンショーを鑑賞。



⑥駅前で新潟の食とお酒を堪能。近くのホテルに宿泊。明日、万代で開催される踊りの祭典が楽しみ♪





## 1 5つの方針

○将来ビジョンを実現するため、5つの方針を掲げます。

○持続可能なまちづくりを進めていくため、5つの方針はSDGsを意識したものとします。



▶▶▶ 居心地がよく歩きたくなる空間を形成する ◀◀◀

歩行  
滞留

10のストリートで特色ある豊かな歩行空間を形成するとともに、道路・民地の双方で、都心のライフスタイルの質を高める豊かな滞留空間を創出  
歩行空間や滞留空間を緑のネットワークとしても活かし、潤いある空間を形成



沿道と一体となった緑豊かで、人と公共交通が中心の東大通イメージ



通り全体を広場化した旧新瀧駅前通イメージ



沿道の公開空地などオープンスペースを活用したみなとまちストリートイメージ

1階づくり  
(グランドレベル)

主要な歩行者ルート沿いを中心に、沿道民地の1階部分のオープン化を促進し、多様な人々の交流を生み、歩いていても新瀧駅・万代地区の“らしさ”が感じられる空間を創出  
ストリートの特色や将来の姿に応じた1階部分の土地利用を誘導



一体的なグランドレベルデザインのイメージ  
(居心地が良く歩きたくなるグランドレベルデザイン  
令和3年6月 国土交通省 都市局 まちづくり推進課)



沿道の商業施設と一体となった万代シテイ通り (万代シテイ中心エリアリニューアル企画書より)

移動  
情報

エリア内はもとより、古町地区や万代島地区を含めた「にいがた2km」や、市内の回遊性の向上を促すため、デジタル技術も活用した案内機能の強化など、わかりやすくタイムリーな移動情報を提供  
エリアの価値向上やマネジメントに資する屋外広告の柔軟な運用を検討



わかりやすい案内サインなど、安心して歩ける空間づくりのイメージ



大阪市うめきた地区における景観自主ルールに基づく屋外広告物の掲示事例

▶▶▶ まちなかの交通環境を整える ◀◀◀

道路

外郭道路ネットワーク（万代島ルート線等）を形成し、東大通等の通過交通の転換を図る  
自動運転やまちづくりのDXなどデジタル技術への対応や道路空間の再編などにより、道路などの公共空間をフレキシブルに活用



万代島ルート線への転換イメージ  
(写真提供元：国土交通省北陸地方整備局新潟港湾・空港整備事務所)



マイカーによる通過交通を抑制した公共交通と歩行者優先の通りのイメージ

モビリティ

公共交通のターミナルを中心に市内外とまちなかを結ぶ交通環境を整備  
バス待ち空間や乗降スペースの確保など、公共交通サービスの質を高めるとともに、鉄道やタクシー等を含めた公共交通の連携を強化  
MaaSや自動運転等の新たな技術を活用した都市交通の実現を図る  
自転車や新たなパーソナルモビリティなど環境にもやさしいモビリティの交通環境を充実



新潟駅周辺整備（交通ターミナル）事業計画



質の高い公共交通サービスイメージ



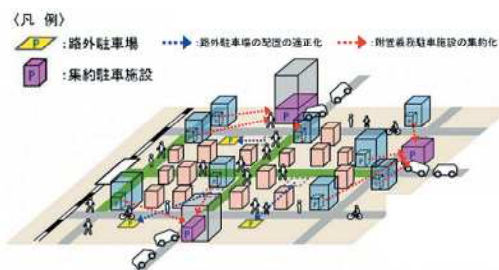
自転車やパーソナルモビリティの通行環境整備イメージ

駐車場

まちづくりと連携して駐車場の配置や出入口の位置等を誘導し、まちなかの駐車場の配置適正化を図る



駐車場の集約化イメージ（国土交通省資料）

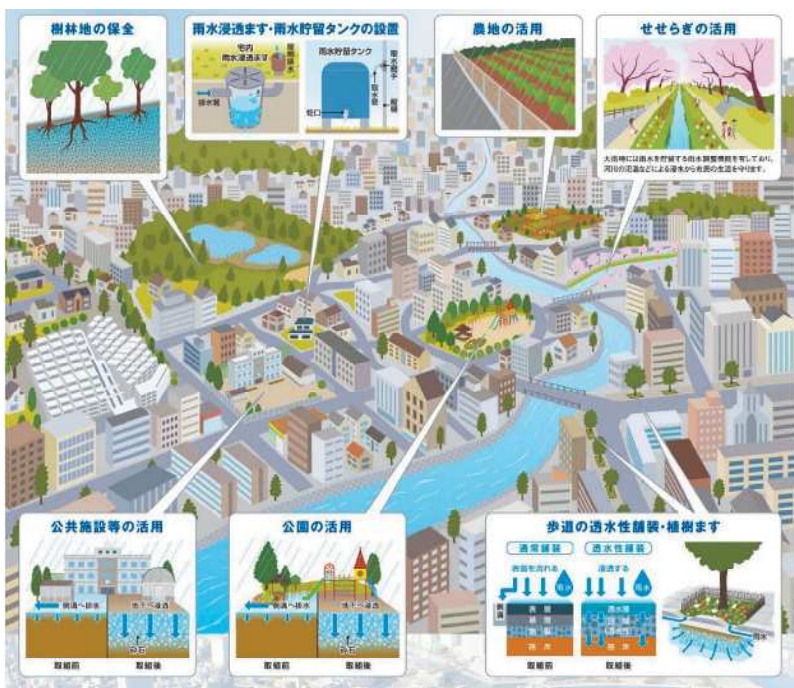


まちづくりと連携した駐車場施策ガイドライン（基本編）（国土交通省資料）

▶▶▶ 安心・安全で持続可能な都市環境を形成する ◀◀◀

グリーン  
インフラ

公共空間の整備や新潟都心地域開発ガイドラインに基づく民間開発などの機会を活かした、積極的なグリーンインフラの推進



様々なグリーンインフラの取組例  
出典：グリーンインフラの事例（国土交通省）

省エネルギー  
再生可能  
エネルギー

省エネルギーに資する建物や移動手段への転換、再生可能エネルギーの活用などにより、都市の環境負荷を軽減



再生可能エネルギーの活用や緑化等を取り入れた取り組みのイメージ

防災  
減災

都市機能の継続性と市民の命を守る災害への対応として、民間との連携による津波避難ビルや一時避難施設等の確保を促進  
避難者の受け入れや災害備蓄など、エリアに応じた地域防災の充実を強化



災害備蓄のイメージ



津波到達時間と避難ビルの位置（中央区HP）

▶▶▶ エリア固有の資源を活かした魅力を再発見し、磨く ◀◀◀

土地利用

まちなか居住や複合的な土地利用、ストリートと一体となったオープンスペース、空き地・空き店舗等の有効活用など、ストリートの特色や将来の姿に応じた土地利用を誘導



柔軟な土地利用の連鎖的な展開  
事例：富良野市 出典：市街地整備2.0 (国土交通省)

ビジネス・イノベーション

柔軟な働き方や高機能オフィスに対応した多様な業種・業態の商業・業務機能を誘導ベンチャー企業等の誘致やスタートアップ拠点の形成などを通じて、イノベーションを促進する新たなビジネス拠点を形成メタバース、ドローンなど先端技術の活用や、DXの推進等により、ビジネスチャンスが芽生える環境づくりを推進



コワーキングスペース (MOYORe:)



NINNOと渋谷QWSに入居するベンチャーキャピタルや渋谷QWSと連携する大学機関とをデジタル技術を介してマッチング  
出典：まちづくりDXの施策紹介 (国土交通省)



地域整備方針に合致した容積率等の緩和が適用される取り組みのイメージ

歴史文化

信濃川、みなと、萬代橋、旧新潟駅前通などの歴史的な資源を活かした都市デザインを推進  
アートやマンガ・アニメなどの文化を発信



萬代橋とメディアシップ

景観形成

ストリートごとの特色や成り立ちを活かした街並み、都市緑化の豊かな水辺空間など、みなとまちとしての活力と風格のある都市景観を形成  
1階レベルのオープン化やオープンスペースを効果的に活かした景観づくりや建物のガラス面からの透過光、ライトアップ等の灯りによる上質な夜間景観づくり



夜間の景観イメージ

官民連携でまち・人を育て、発信する

エリア  
プラットフォーム  
(地区全体)

人材と情報の出会いや、交流の受け皿となるエリアプラットフォームの構築・運営

エリア  
マネジメント

エリアの魅力と価値を高めるため、各種事業を官民連携で展開しながら、人材を育成  
持続的な事業運営を可能とするエリアマネジメントの手法を検討

シティ  
ブランディング

エリアごとのアイデンティティを活かした魅力創出  
と情報発信を行いながら、古町地区、万代島地区を  
含む「にいがた2km」のシティブランディングを  
推進

エリアを象徴するストリーートの愛称を設定し、エリ  
アイメージを強化



にいがた2kmのまちづくり  
(写真提供元：国土交通省北陸地方整備局新潟港湾・空港整備事務所)

情報  
発信

ポータルサイトやSNSなどの、プロモーション手法を  
効果的に活用し、イベントやエリアのまちづくりなどの  
情報を発信



## コラム

### 自動車中心から人中心の都市空間への転換

#### ○全国的な潮流 ～クルマ優先の街路からウォーカブルなストリートへ～

高度経済成長を経た現代において、ともすればクルマが優先する通行空間であった街路を、我が国の都市の形成史を踏まえつつ、今日的な我が国ならではのストリートに転換し、人々が行き交い、様々な出会いと交流が生み出されることにより、イノベーションの創出やまちの求心力の根源となるような、居心地が良く歩きたくなる「ウォーカブルな」ストリートとすることが、都市に求められている。

(国土交通省都市局・道路局  
「ストリートデザインガイドライン (令和3年5月)」より)



#### ○新潟駅・万代地区周辺における「人中心のウォーカブルな空間づくり」の考え方

人中心のウォーカブルな空間づくりに向けて、自動車・公共交通等の交通環境を見直し、歩行者のための空間づくりを推進していきます。

##### 前提条件

- 高架下交通広場（駅直下バスターミナル）の整備完了
- 中・長距離バスターミナルの整備完了
- 万代島ルート線の概成、新潟駅西線などの都市計画道路の概成

自動車と公共交通を取り巻く環境が大きく変化します。

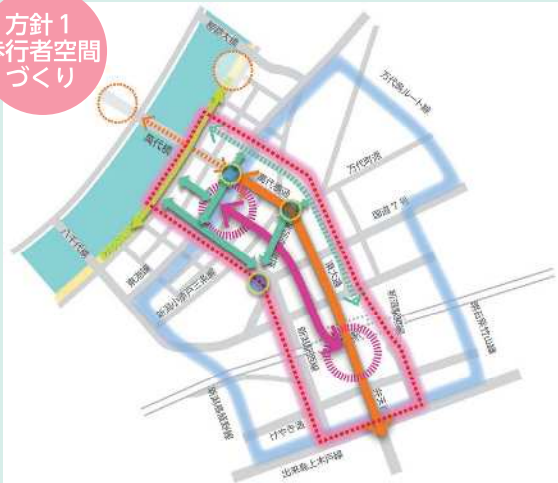
##### 【歩行者のための空間への転換】

エリア内の回遊性向上と居心地が良い滞在空間の創出に向け、10のストリートの特色を活かしたウォーカブルな空間づくりを進めます。

##### 【自動車・公共交通等の交通環境の見直し】

万代島ルート線の概成や新潟駅連続立体交差事業に伴う幹線道路整備により都心の外郭道路ネットワークが形成され、都心部の通過交通の転換を図ります。

##### 方針1 歩行者空間づくり



- 凡例
- 将来ビジョン対象エリア
  - 賑わいの核
  - 都心の骨格となる都市軸 (居心地がよい滞在空間を高めるもの)
  - 核をつなぐモールとしての軸 (歩行者の滞在快適性を高めるもの)
  - 重要な地域資源 (歴史的・自然的に貴重な資源)
  - 地域資源をつなぐ歩行者ネットワーク (居心地がよい滞在空間を高めるもの)

- 外郭道路ネットワーク
- 面的な歩行者空間

##### 方針2 基盤づくり



- 凡例
- 将来ビジョン対象エリア
  - 都心軸
  - 副軸
  - バス交通の結節点
  - 幹線道路
  - 主要区画道路
  - 鉄道

- 外郭道路ネットワーク

# IV ストリートごとのウォーカブルな将来の姿

○将来ビジョンを実現するため、10のストリートのウォーカブルな将来の姿を描きます。



## ストリート

## ストリートの将来の姿

### ① 弁天ゲートストリート

- ・弁天ルート（新潟駅前～旧新潟駅前通）

### 駅と万代地区・水辺をつなぐ弁天ルートのゲートストリート

～新潟の食と酒文化を体験できる昼夜ともに賑わいが連続してあふれるエリア～

### ② 旧新潟駅前通

- ・市道南2-47号線（流作場五差路～弁天公園）

### 多様な人が留まり憩う、居心地が良いパークストリート

～新たな回遊を生み出し、思い思いの多様な過ごし方を受け入れる緑豊かで居心地が良いエリア～

### ③ 万代シテイストリート

- ・弁天ルート（万代ガルベストン通）
- ・市道南2-2号線（万代シテイ通） など

### 新たな万代シテイを象徴するウォーカブルなストリート

～多様な来訪者が居心地が良く楽しく回遊できる体験型・時間消費型のエリア～

### ④ かわまちストリート

- ・弁天ルート（東港線～信濃川）
- ・市道八千代1号線 など

### “まち”と“かわ”をつなぐ、やすらぎ堤へ誘うストリート

～商業施設や沿道開発との連携により、やすらぎ堤への新たな回遊を生み出すエリア～

### ⑤ 東大通ストリート

- ・東大通（新潟駅～流作場五差路）
- ・新潟駅万代口周辺（万代広場等）

### 風格と機能を併せ持つ都心の象徴的なストリート

～駅とまちをつなぎ、沿道と一体となった緑豊かで居心地が良い、人中心のエリア～

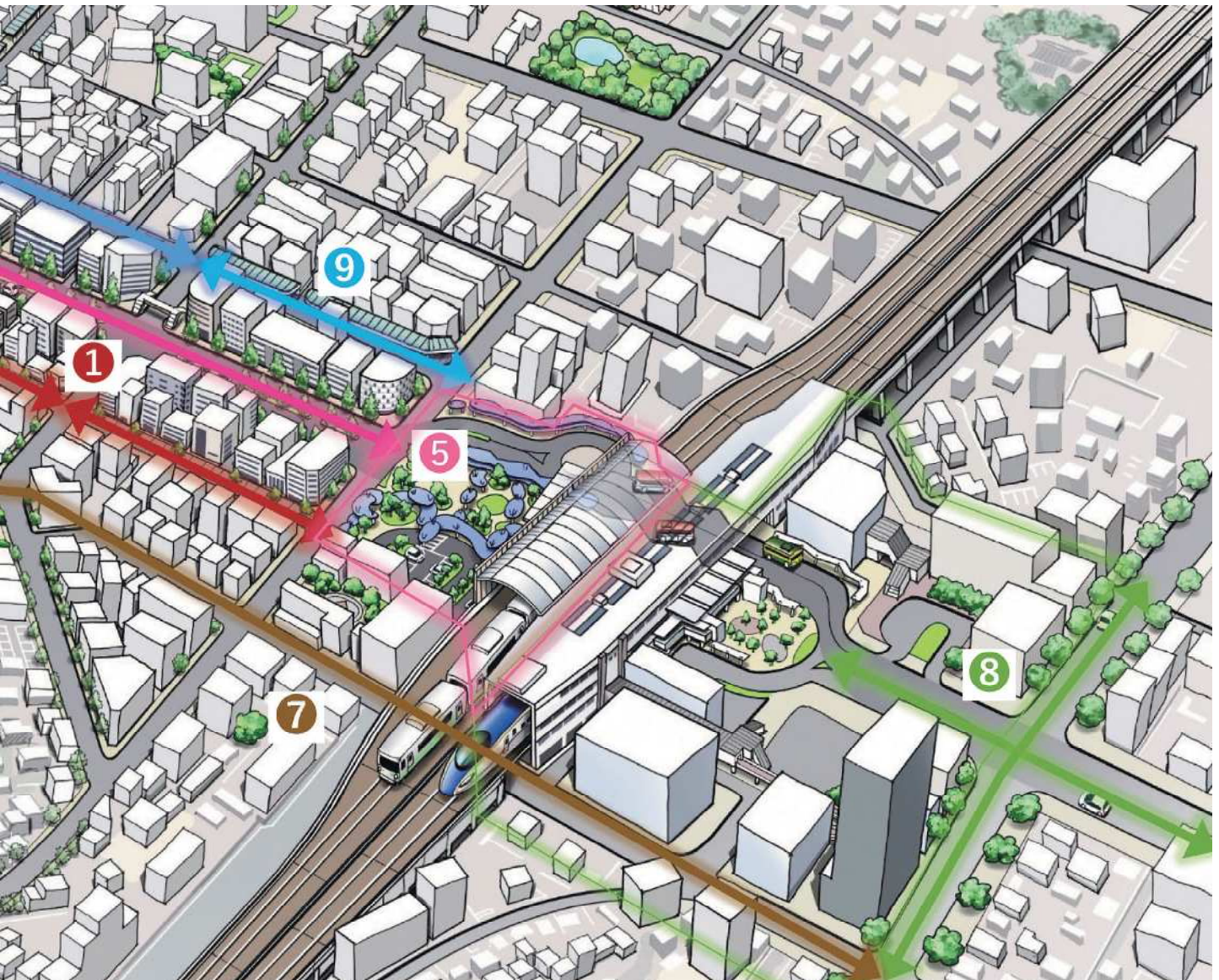
### ⑥ 萬代橋通

- ・萬代橋通（流作場五差路～萬代橋）

### 駅・万代地区と信濃川、古町地区をつなぐメインストリート

～特色ある公共的空間の活用・連携により、多様な過ごし方を可能とし、都心をつなぐエリア～





## ストリート

## ストリートの将来の姿

### ⑦ 新潟駅西ストリート

- ・(都) 新潟駅西線 (笹出線～弁天公園) など

### 駅南北のアクセス機能を担うストリート

～駅南北の一体的な市街地の形成と  
県内外のアクセス機能を担うエリア～

### ⑧ 駅南ストリート

- ・新潟駅南口駅前広場 (南口中央広場等)
- ・駅南線 (けやき通)
- ・弁天線 (駅南線～笹出線) など

### 交流の活発化によりイノベーションが生まれるストリート

～周辺施設とつながり、イノベーションの促進につながる  
雰囲気のあるエリア～

### ⑨ 花園ゲートストリート

- ・花園ルート (新潟駅前～明石通)

### 駅と“みなと”をつなぐ花園ルートのゲートストリート

～都心軸の東西で対となって、新潟の食と酒を楽しむ  
おもてなしエリア～

### ⑩ みなとまちストリート

- ・花園ルート (明石通～万代町通～東港線～信濃川)

### “まち”と“みなと”をつなぐ、万代島へ誘うストリート

～万代島への快適なアクセスを担い、  
商業・業務・住居など多様性のある混合土地利用エリア～

## ① 弁天ゲートストリート

・弁天ルート（新潟駅前～旧新潟駅前通）

### ストリートの将来の姿

駅と万代地区・水辺をつなぐ弁天ルートのゲートストリート  
～新潟の食と酒文化を体験できる昼夜ともに賑わいが連続してあふれるエリア～

### 参考イメージ



### 将来ビジョンの実現に向けた取り組みイメージ

- 方針1 沿道のグランドレベルのオープン化
- 方針2 歩車共存道路化(歩車の境界がない道路)
- 方針2 まちづくりと連携した駐車場施策への見直し(駐車場出入口の誘導等)
- 方針4 和、食、酒等の新潟文化を楽しめる店舗の充実
- 方針4 低未利用地の利活用(イベント活用など)
- 方針4 ストリート全体での統一感の醸成(景観づくりなど)

など

※ 方針3 と 方針5 は対象エリア全体で取り組む

### 周辺エリアとの「つながり」

- 駅と万代地区、水辺とのつながり
  - ・駅から万代地区、水辺へと足を運んでみたくなるような沿道空間の利活用を推進する
- 花園ルートとのつながり
  - ・花園ルート側を含めた一体的な空間形成や、回遊を促す仕組みづくりを推進する

## ② 旧新潟駅前通

・市道南2-47号線（流作場五差路～弁天公園）

### ストリートの将来の姿

#### 多様な人が留まり憩う、居心地が良いパークストリート

～新たな回遊を生み出し、思い思いの多様な過ごし方を受け入れる緑豊かで居心地が良いエリア～

### 参考イメージ



※参考イメージは、あくまでイメージです。

### 将来ビジョンの実現に向けた取り組みイメージ

**方針1** 再整備後の道路空間を滞留・賑わい空間などとして活用（ほこみち制度等）

**方針1** 沿道のグランドレベルのオープン化

**方針2** 道路空間の再編（広場のようなストリートへ）

**方針2** 旧新潟駅前通を通行する自転車・車への対応

**方針2** まちづくりと連携した駐車場施策への見直し（駐車場出入口の誘導等）

**方針4** 良好な都市景観の誘導（景観ガイドライン等）

など

※ **方針3** と **方針5** は対象エリア全体で取り組む

### 周辺エリアとの「つながり」

#### ○弁天公園とのつながり

- ・弁天公園と旧新潟駅前通が一体となって憩いの空間が形成されるよう、弁天公園との連続性を意識した空間づくりと空間活用を行う

#### ○流作場五差路とのつながり

- ・自動車交通のあり方の見直しとともに、流作場五差路との連続性を考慮し、立ち寄りたくなる魅力ある空間に転換していく（流作場五差路の歩道と一体となったまちなか広場の創出など）

### ③ 万代シテイストリート

・弁天ルート（万代ガルベストーン通） ・市道南2-2号線（万代シテイ通） など

#### ストリートの将来の姿

### 新たな万代シテイを象徴するウォークブルなストリート

～多様な来訪者が居心地が良く楽しく回遊できる体験型・時間消費型のエリア～

#### 参考イメージ

イベント時や週末は歩行者天国となり、  
非日常的な雰囲気を演出

道路上では大道芸や  
小さな動物園などで、  
親子が楽しんでいる



キッチンカーで食べ物を買って  
テラス席で楽しんでいる

※参考イメージは、あくまでイメージです。

#### 将来ビジョンの実現に向けた取り組みイメージ

- 方針1 道路空間を滞留・賑わい空間などとして活用（ほこみち制度等）
- 方針1 休日等は車道を含めて賑わい空間として活用
- 方針1 沿道のグランドレベルのオープン化・ガラス張りなどによる公共空間と一体となった空間づくり
- 方針4 体験型、時間消費型の都市機能を強化  
など

#### 周辺エリアとの「つながり」

- 駅と万代地区、水辺とのつながり
  - ・駅から万代地区、万代地区から水辺へと足を運びたくなるきっかけの場所として、滞留できる空間づくりを行う
- 継続的なストリートマネジメント
  - ・ほこみちを指定した道路では、沿道と一体になった道路空間の活用により、エリアの魅力向上に資する取り組みとともに、継続的なストリートマネジメントを推進する
- 万代クロッシングとの連携
  - ・万代シテイ通と萬代橋通が交わる万代クロッシングとも連携した活用の可能性を検討する

※ 方針3 と 方針5 は対象エリア全体で取り組む

## 4 かわまちストリート

・弁天ルート（東港線～信濃川） ・市道八千代1号線 など

### ストリートの将来の姿

#### “まち”と“かわ”をつなぐ、やすらぎ堤へ誘うストリート

～商業施設や沿道開発との連携により、やすらぎ堤への新たな回遊を生み出すエリア～

### 参考イメージ



※参考イメージは、あくまでイメージです。

### 将来ビジョンの実現に向けた取り組みイメージ

- 方針1 商業施設や旧運輸局跡地の活用と一体となった歩行空間の創出
- 方針1 沿道のグランドレベルのオープン化・ガラス張りなどによる公共空間と一体となった空間づくり
- 方針2 道路空間の再編
- 方針4 水辺空間の魅力を活かしたまちなか居住
- 方針4 体験型・時間消費型の都市機能の強化
- 方針4 やすらぎ堤の視点場（大階段）へのアクセスルートとして、水辺を感じる空間づくり

など

※ 方針3 と 方針5 は対象エリア全体で取り組む

### 周辺エリアとの「つながり」

#### ○万代地区と水辺とのつながり

- ・万代地区から水辺へと歩きたくなる歩行者ネットワークの形成や空間演出を行う
- ・やすらぎ堤につながるルートとしての認知を広げ、回遊性の向上を図るため、水辺空間の取り組みとの連携を推進する。例えば、かわまちストリートから水辺方向を望む際に信濃川ややすらぎ堤を認識できる空間づくりなど

## ⑤ 東大通ストリート

・東大通（新潟駅～流作場五差路） ・新潟駅万代口周辺（万代広場等）

### ストリートの将来の姿

#### 風格と機能を併せ持つ都心の象徴的なストリート

～駅とまちをつなぎ、沿道と一体となった緑豊かで居心地が良い、人中心のエリア～

### 参考イメージ

「人と公共交通」が中心のストリートとして生まれ変わる



通過交通の転換による  
段階的な空間再編

敷地内や建物壁面  
屋上空地の緑が心地よい



都市の風格を感じる  
都市景観

グランドレベルのファサードが  
オープンで活気が滲み出している

オープンスペースで  
寛いでいる

※新潟駅～明石通

※参考イメージは、あくまでイメージです。

### 将来ビジョンの実現に向けた取り組みイメージ

- 方針1 沿道のグランドレベルのオープン化・ガラス張りなどによる公共空間と一体となった空間づくり
- 方針1 新潟駅と万代広場の連続性を意識した万代広場および道路空間の活用
- 方針1 案内サインや、デジタルサイネージの充実
- 方針2 通過交通の転換（万代島ルート線への転換や、公共交通の利用促進など）と道路空間の段階的な再編への取り組み（社会実験など）
- 方針2 多様な交通手段を選択できる環境づくり（走行空間やポートの設置など）
- 方針2 まちづくりと連携した駐車場施策への見直し（駐車場出入口の誘導等）
- 方針4 業務、商業、宿泊など多様な高次都市機能の誘導
- 方針4 良好な都市景観の誘導（景観ガイドライン等）  
など

※ 方針3 と 方針5 は対象エリア全体で取り組む

### 周辺エリアとの「つながり」

- 新潟駅とまちのつながり
  - ・新潟駅を降りた来街者が駅からまちなかへ歩き出したいくなるような、人が集まりやすい機能と空間づくりを行う
- 弁天ルート側と花園ルート側とのつながり
  - ・弁天ルート側と花園ルート側は東大通で分断されているが、エリアの回遊性向上のため、ルート間を行き来しやすいように、東大通の段階的な再編などを検討する
- まちと駅のつながり・広がり・一体感
  - ・「まちと駅のつながり・広がり・一体感」ある駅前広場としていくため、整備後の広場を活用したエリアマネジメントを推進する

## 6 萬代橋通

・萬代橋通（流作場五差路～萬代橋）

### ストリートの将来の姿

#### 駅・万代地区と信濃川、古町地区をつなぐメインストリート

～特色ある公共的空間の活用・連携により、多様な過ごし方を可能とし、都心をつなぐエリア～

#### 参考イメージ

萬代橋から水辺を愛でている

敷地内や建物壁面、  
屋上の緑が心地良い

沿道の公共的空間では思い思いに過ごしている  
(メディアシップ前、萬代橋橋詰など)

水辺空間へのアクセス改善

水辺を感じながら食事や仕事、  
散歩をしている

オープンスペースが有効活用  
されている



萬代橋橋詰広場の活用



メディアシップのオープンスペースの活用

多様なモビリティで  
移動している

※参考イメージは、あくまでイメージです。

#### 将来ビジョンの実現に向けた取り組みイメージ

**方針 1** 沿道に点在する公共空間の特性に合わせた有効な活用と連携（社会実験等）

**方針 1** 水辺空間へのアクセス改善

**方針 1** 沿道のランドレベルのオープン化

**方針 2** 通過交通の転換（万代島ルート線への利用転換や、公共交通の利用促進など）と道路空間の段階的な再編への取り組み

**方針 2** 多様な交通手段を選択できる環境づくり（走行空間やポートの設置など）

**方針 2** まちづくりと連携した駐車場施策への見直し（駐車場出入口の誘導等）

**方針 4** 業務、商業、宿泊など多様な高次都市機能の誘導

**方針 4** 良好な都市景観の誘導（景観ガイドライン等）

など

※ **方針 3** と **方針 5** は対象エリア全体で取り組む

#### 周辺エリアとの「つながり」

##### ○駅・万代地区と信濃川、古町とのつながり

・駅・万代地区から信濃川やその先の古町地区まで、歩きたくなる空間づくりや、多様な交通手段を選択できる環境づくりを図る

##### ○万代地区周辺と万代島をつなぐ

・沿道の地域が萬代橋通によってつながり、各エリアの回遊を促すような沿道の公共空間を活用した賑わいの創出を図る

##### ○水辺空間とのつながり

・萬代橋通からやすらぎ堤や万代テラスへのアクセスを改善し、水辺空間との一体感の醸成を図る

## ⑦ 新潟駅西ストリート

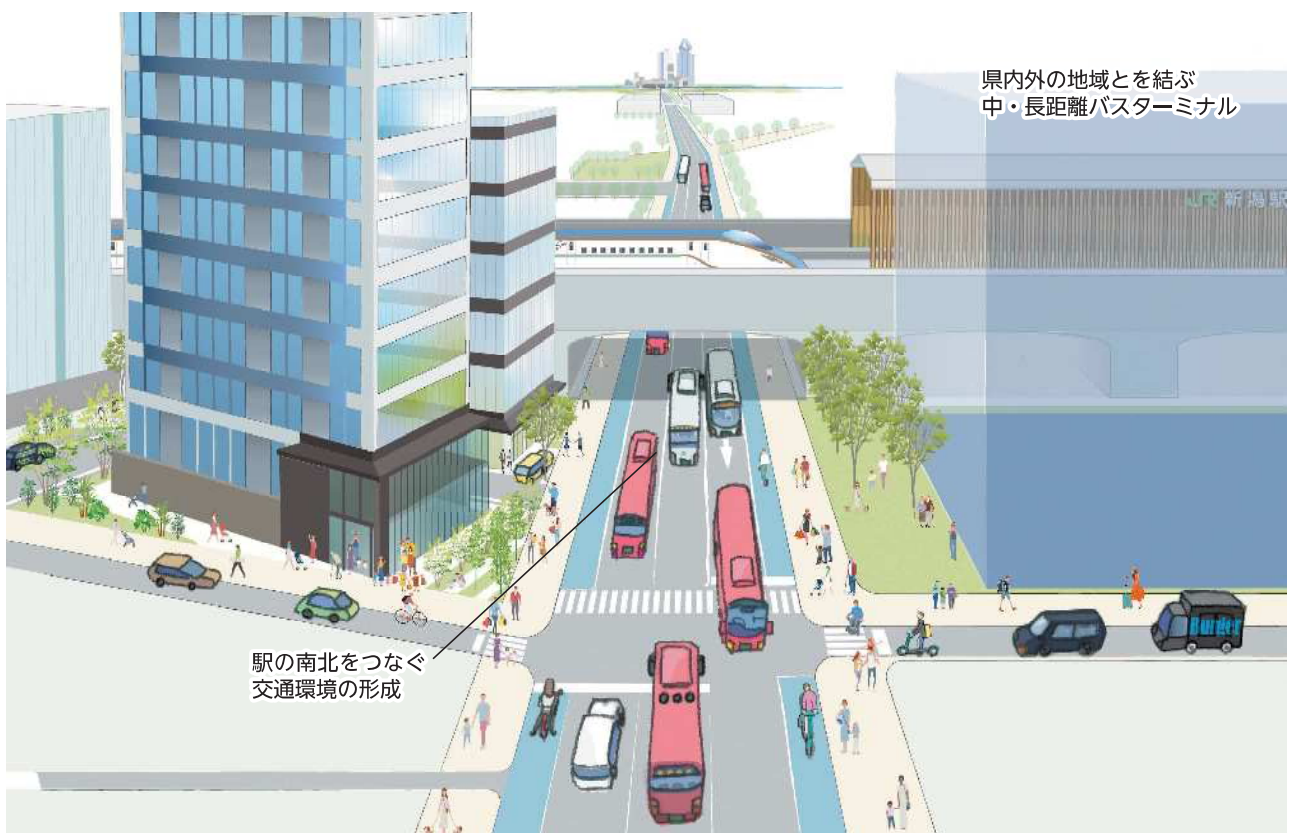
・(都) 新潟駅西線(笹出線～弁天公園) など

### ストリートの将来の姿

#### 駅南北のアクセス機能を担うストリート

～駅南北の一体的な市街地の形成と県内外のアクセス機能を担うエリア～

### 参考イメージ



※参考イメージは、あくまでイメージです。

### 将来ビジョンの実現に向けた取り組みイメージ

- 方針2 新潟駅西線の整備(バリアフリーに配慮した歩道や自転車道の整備)
- 方針2 中・長距離バスターミナル等の整備
- 方針2 駅の南北をつなぐ交通環境づくり(バス、自転車など)
- 方針4 南北市街地の一体化による沿道土地利用の活性化など

※ 方針3 と 方針5 は対象エリア全体で取り組む

### 周辺エリアとの「つながり」

- 南北市街地をつなぐ
  - ・鉄道高架下を横断する幹線道路を整備することで、南北市街地の一体化や、駅へのアクセス機能の向上、駅周辺の渋滞解消を図る
- 駅と郊外地域、他都市をつなぐ
  - ・中・長距離バスターミナルのアクセス道路として、駅と郊外地域や他都市をつなぐ役割を担う



## ⑧ 駅南ストリート

・新潟駅南口駅前広場（南口中央広場等） ・ 駅南線（けやき通） ・ 弁天線（駅南線～笹出線） など

### ストリートの将来の姿

#### 交流の活発化によりイノベーションが生まれるストリート

～周辺施設とつながり、イノベーションの促進につながる雰囲気のあるエリア～

#### 参考イメージ

南口中央広場や歩道空間がイベント等に有効活用されている

けやき通りではおしゃれな個店が立ち並び、楽しい空間が形成されている

高架下交通広場（駅直下バスターミナル）により駅南北の移動がスムーズに

民間による起業支援や、ITを中心とした企業が集積

※参考イメージは、あくまでイメージです。

#### 将来ビジョンの実現に向けた取り組みイメージ

**方針1** 南口中央広場や道路空間等を滞留・賑わい空間などとして活用

**方針1** 駅前における案内サイン、デジタルサイネージの充実

**方針4** イノベーションの創出や、スタートアップ拠点の形成

など

#### 周辺エリアとの「つながり」

##### ○駅北側とのつながり

・駅南北の回遊性向上につながる取り組みを推進する

##### ○駅南側のスタジアム等とのつながり

・駅周辺を含め、まちなかでもスポーツ観戦等による熱気を味わえるような、取り組みを推進する

##### ○まちと駅をつながり・広がり・一体感

・「まちと駅をつながり・広がり・一体感」ある駅前広場としていくため、整備後の広場を活用したエリアマネジメントを推進する

※ **方針3** と **方針5** は対象エリア全体で取り組む

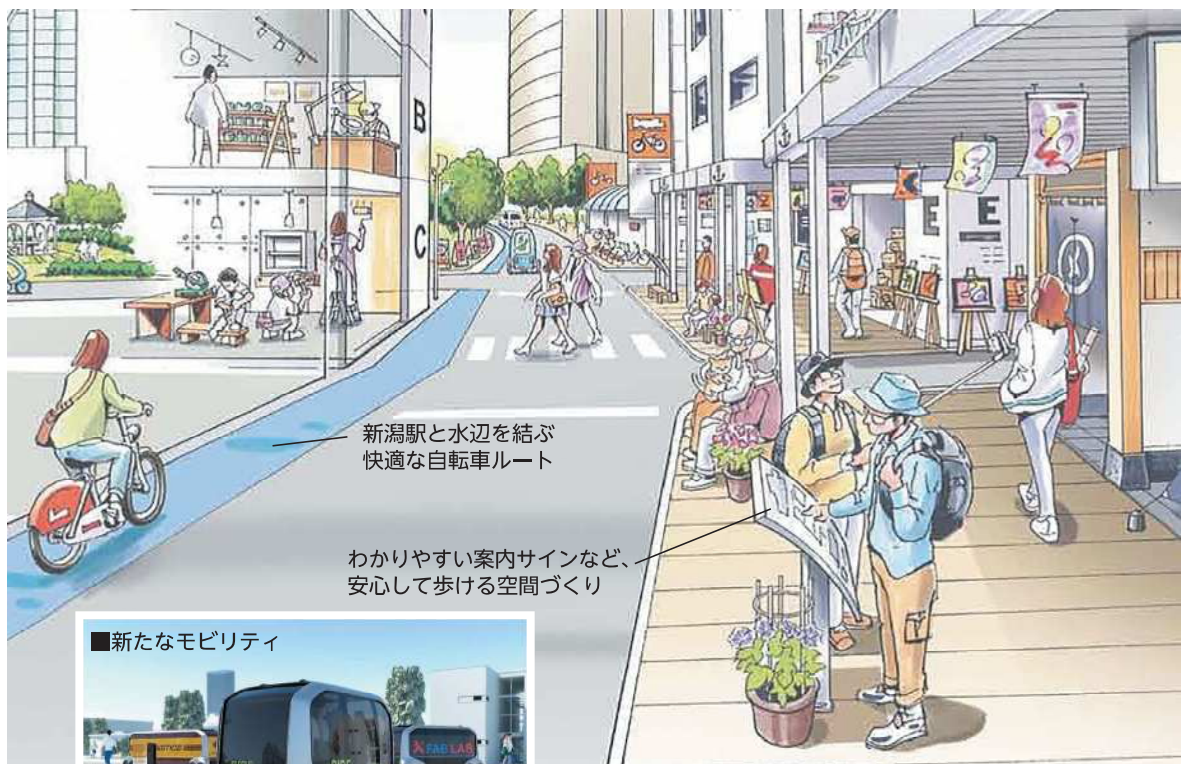
## ⑨ 花園ゲートストリート

・花園ルート（新潟駅前～明石通）

### ストリートの将来の姿

駅と“みなと”をつなぐ花園ルートのゲートストリート  
～都心軸の東西で対となって、新潟の食と酒を楽しむおもてなしエリア～

### 参考イメージ



※参考イメージは、あくまでイメージです。

【出典】国土交通省

### 将来ビジョンの実現に向けた取り組みイメージ

- 方針1 “みなと”への案内サインの充実
  - 方針2 自転車や新たなモビリティ通行環境づくり
  - 方針4 安心して、新潟の食と酒を楽しめる繁華街としての環境づくり
- など

※ 方針3 と 方針5 は対象エリア全体で取り組む

### 周辺エリアとの「つながり」

- “みなと”とのつながり
  - ・連続した自転車走行環境の確保や案内サインなどにより、“みなと”へとつながる雰囲気づくりや楽しく快適にアクセスできる環境を創出する
- 弁天通とのつながり
  - ・東大通を挟んで対となった副軸を形成する弁天通との連携を図る

## ⑩ みなとまちストリート

・花園ルート（明石通～万代町通～東港線～信濃川）

### ストリートの将来の姿

#### “まち”と“みなと”をつなぐ、万代島へ誘うストリート

～万代島への快適なアクセスを担い、商業・業務・住居など多様性のある混合土地利用エリア～

#### 参考イメージ

ものづくりの工房が入居している

新たなモビリティが安全に通行できる環境が整っている



立体駐車場の1Fは店舗利用されている

公開空地を活用したオープンカフェやマルシェが行われている

※参考イメージは、あくまでイメージです。

#### 将来ビジョンの実現に向けた取り組みイメージ

**方針1** 沿道の公開空地などオープンスペースの活用による居心地よい空間づくり

**方針1** “みなと”への案内サインの充実

**方針2** 自転車や新たなモビリティの通行環境づくり

**方針4** 商業・業務と住居の機能を適度に共存

**方針4** 沿道の低未利用地など、緩やかな土地利用の更新など

#### 周辺エリアとの「つながり」

##### ○新たな魅力の創出によるまちなか居住の促進

- ・商業・業務・住居などが混在する多様性をアイデンティティとして、新たな魅力を創出する取り組みにより、まちなか居住を促進する

##### ○エリア関係者間のつながり

- ・宿泊施設事業者や駐車場などのエリア関係者と将来の姿を共有し、具現化に向けた連携した取り組みを推進する

##### ○“みなと”とのつながり

- ・万代島へ歩きたくなる雰囲気や、楽しく快適にアクセスできる環境を創出する

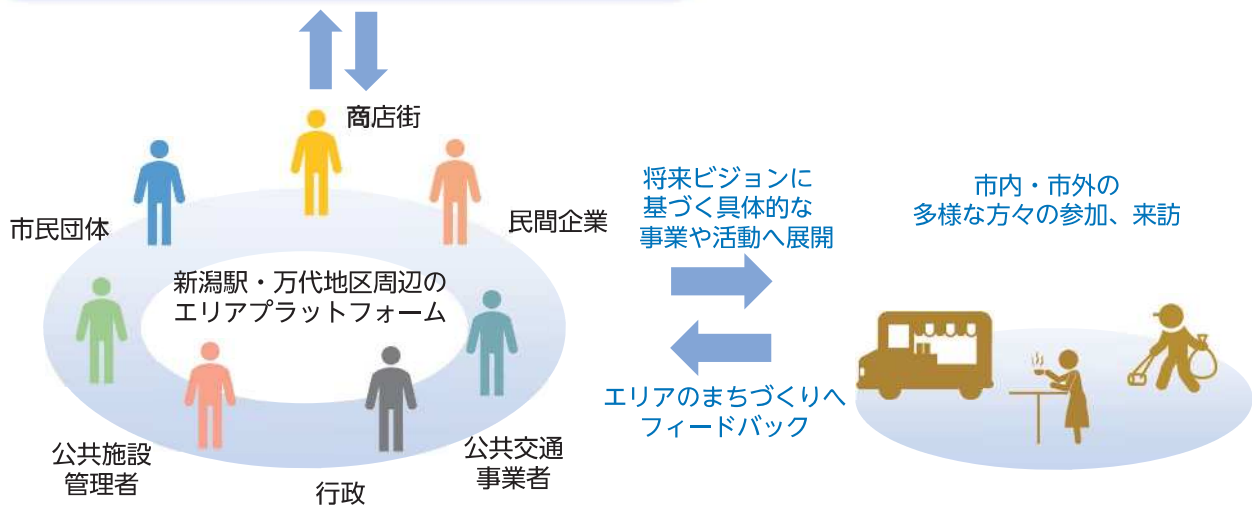
※ **方針3** と **方針5** は対象エリア全体で取り組む



## 1 将来ビジョンの実現に向けた体制

- 「新潟駅・万代地区周辺」には、民間企業、商店街、交通事業者、市民団体など、多様な主体が存在し、精力的に活動しています。こうした多様な主体が連携するための場や機会を増やすことで、エリア全体で情報共有や連携した取り組みを活性化できる可能性があります。
- 今後は、将来ビジョンを共通の目標として、その実現のために多様な主体同士が情報共有や連携することを目的に「**エリアプラットフォーム**」を構築します。
- エリアプラットフォームは、設立後の当面の間、主要な事業者等が参加し、エリアに関連する情報の共有、将来ビジョンに基づく施策や取り組みの進捗確認、今後の取り組み予定の共有等を行います。
- ゆくゆくはエリアに関わる、より幅広い主体が参加するようなプラットフォームの仕組みにより、多様な連携を促進するとともに、必要に応じてエリアマネジメントを実施する組織について検討していきます。さらにエリア内外（古町、万代島、市域全体、市外・県外・世界）の連携を強化し、**さまざまな「つながり」を創出し、新たな魅力・価値が創造される『人中心のまち』を目指します。**

### 新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン



## 2 将来ビジョンの実現に向けたまちづくり推進プロセス

- 将来ビジョンの実現に向けた取り組みの実施や、官民連携による推進体制の構築に向けた推進プロセスを以下のとおり整理します。
- 将来ビジョンに位置づけた10のストリーートのうち、既に新潟市で取り組みを推進しているものや短期的に効果発現が期待されるもの、周辺の取り組みと一体的に実施することが効率的・効果的なものについて取り組み、民間事業と連動しながら推進していきます。
- 実施した取り組みで得られた成果や課題等を踏まえ、他のストリートへの展開を図るとともに、道路空間の再構築などハード事業の実施や、民間開発への支援、景観ガイドラインに基づく景観誘導などの各種ソフト施策の運用を順次進めていきます。
- まちの発展・成熟や社会情勢の変化等に応じて常に更新していくものとします。

		短期	中期	長期
<b>新潟駅・万代地区周辺 将来ビジョン</b>		ビジョン策定	適宜更新	
<b>将来ビジョンの実現に向けた取り組み</b>	<b>公共空間の再編</b> (東大通、旧新潟駅前通、石宮公園等)	社会実験の実施	順次、計画・設計・整備	
	<b>交通環境の充実</b> (中・長距離バスターミナル、高架下交通広場(駅直下バスターミナル)の整備等)	調査・設計・整備	順次運用開始	
	<b>まちづくりと連携した駐車場施策への見直し</b>	調査・設計・策定	運用	
	<b>良好な都市景観の誘導</b> (景観ガイドライン等)	調査・設計・策定	順次運用	
	<b>公共空間利活用の推進</b> (万代シテイ等)	社会実験	制度活用による運用(ほこみち制度等)	
	<b>エリアマネジメントの推進</b> (駅前広場)	整備	順次運用	
<b>官民連携による推進体制の運営</b>		エリアプラットフォームの運営 官民連携事業などの展開	エリアプラットフォームの成熟化 エリアマネジメント事業の展開 官民連携事業などの継続化	



## 『新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン』について

～（仮称）新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン懇談会アドバイザー

國學院大學教授 西村幸夫氏から～

新潟の都心は、開港から150年かけて信濃川に向かって層状に拡がり、それらの市街地が縦の軸によって深くつながり発展してきた。縦の軸は、旧市街地（古町）と新市街地（新潟駅・万代地区周辺）を結び、今も変わらず近代の不動の軸として都心の発展に寄与してきた。そのような都市は稀有である。

新市街地の核を成す新潟駅周辺と万代地区周辺の「2核」を結び、「水辺」へとつながる都心軸と2つの副軸から成る「3モール」を形成することは、古町と一体となった都心の更なる拠点化に向けて不可欠である。

新潟駅・万代地区周辺将来ビジョンは、これまでの歴史の蓄積の中で現在の新市街地が形成されてきたことを再認識し、その先に将来の姿を描き、関係者とともにエリア固有のまちづくりに取り組むためのものである。

また、このエリアには、信濃川という「みなとまち新潟」を象徴する水辺空間がある。それを意識して、水辺まで行けることが重要であり、水辺が身近にあることを伝える工夫が必要である。

この将来ビジョンでは、エリア内の10のストリートに着目し、その性格や特色を活かそうとしている。訪れる人々が異なる特色を持つストリートの多様な魅力を体感し、新たな発見や出会い、交流を楽しみながら回遊し、水辺まで行けるように将来ビジョンでは工夫されている。

将来ビジョンを描く過程では、新潟を愛する関係者による熱心な議論が積み重ねられた。そのような議論を経て策定された将来ビジョンを実現するために、関係者が集い、まちづくりの連携を図る「エリアプラットフォーム」が形成されることは自然な流れである。

今後も、市民や関係者の皆さんがまちの将来ビジョンを共有することで、多様な連携による新しい活動を創出し、古町地区を含めた新潟の都心を牽引する魅力あふれるまちづくりが展開されることを期待したい。

令和5年3月

西村幸夫

## 《 巻末資料 》

### （仮称）新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン懇談会について

#### （1）目的

本懇談会は、新潟市の拠点性強化に向け、将来のまちづくりの方向性を示した「新潟都心の都市デザイン」を具現化するため、新潟駅及び万代地区周辺における官民連携まちづくりの観点から、次に掲げることについて、官民の関係者で意見交換を行いながら検討することを目的として、（仮称）新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン懇談会を開催しました。

- 1）（仮称）新潟駅・万代地区周辺将来ビジョンの策定に関すること
- 2）エリアプラットフォームの構築に関すること
- 3）そのほか、懇談会が必要と認めること

#### （2）メンバー

所 属	役 職	氏 名	備 考
新潟商工会議所	事業部長	小沢 謙一	
特定非営利活動法人まちづくり学校	コーディネーター	中村 美香	
新潟ビルディング協会	会長	木山 光	
新潟駅前弁天通商店街振興組合	理事長	田中 健一	
万代シテイ商店街振興組合	理事長	高井 俊幸	
新潟駅前商工振興会	副会長	本間 慎一	
新潟駅前花園1丁目商工振興会	会長	高橋 淑浩	
新潟市南商工振興会	副会長	肥田野正明	
東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社 総務部 企画戦略室	室長	三本 和彦	R3年度
//	室長	吉田 勤	R4年度
株式会社新潟日報社 統合営業本部	副本部長 ビジネス局長	井嶋 猛	
新潟交通株式会社 乗合バス部	部長	和田 徹	
国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所	所長	祢津 知広	R3年度
//	所長	松平 信治	R4年度
国土交通省 北陸地方整備局 建政部 都市・住宅整備課	課長	音瀬 肇	
一般社団法人STUDIO MOC	代表理事	萩野 正和	
（アドバイザー） 國學院大學 観光まちづくり学部	学部長 教授	西村 幸夫	

(3) 懇談会の内容

	議事内容等
第1回懇談会 (R3.10.18)	<ul style="list-style-type: none"><li>・(仮称)新潟駅・万代地区周辺将来ビジョンについて</li><li>・新潟駅・万代地区周辺の歴史・現状</li><li>・(仮称)新潟駅・万代地区周辺将来ビジョンのたたき台</li></ul>
第2回懇談会 (R4.1.14)	<ul style="list-style-type: none"><li>・新潟駅とその周辺の今後</li><li>・「にいがた2km STREET VISION」の提言</li><li>・エリアプラットフォームについての意見交換</li></ul>
第3回懇談会 (R4.3.29)	<ul style="list-style-type: none"><li>・(仮称)新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン(骨子案)の検討</li></ul>
第4回懇談会 (R4.7.5)	<ul style="list-style-type: none"><li>・(仮称)新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン(骨子)の提示</li><li>・まちづくり方針と具体的な取組内容について</li></ul>
第5回懇談会 (R4.9.29)	<ul style="list-style-type: none"><li>・(仮称)新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン(素案)の提示</li><li>・将来の新潟駅・万代地区周辺での過ごし方について</li></ul>
第6回懇談会 (R5.3.10)	<ul style="list-style-type: none"><li>・(仮称)新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン(最終案)の提示</li></ul>



## 用語集

本ビジョンで使用している専門用語などの解説です。

あ行	
アイデンティティ	個物や個人がさまざまな変化や差異に抗して、その連続性、統一性、不変性、独自性を保ち続けること。
アフターコロナ	新型コロナウイルス感染症が世界的に流行した後の社会のこと。
イノベーション	物事の「新結合」「新機軸」「新しい切り口」「新しい捉え方」「新しい活用法」（を創造する行為）のこと。
ウィズコロナ	新型コロナウイルス感染症への対応と社会経済活動を両立した取り組みを推進すること。
ウォークアブル	「歩く」の“walk”と「～できる」の“able”を組み合わせて作られた「歩くことができる、歩きやすい」という意味で、民間投資と共鳴しながら「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を形成すること。
エリアマネジメント	地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取り組み。又は、特定のエリアを単位に、民間が主体となって、まちづくりや地域経営（マネジメント）を積極的に行おうという取り組みのこと。
エリアプラットフォーム	行政をはじめ、まちづくりの担い手であるまちづくり会社・団体や、まちづくりや地域課題解決に関心がある企業、商店街・商工会議所などが集まって、地域の将来像を描き、その実現に向けた取り組みについて協議・調整を行うための場のこと。
オープンスペース	道路や広場などの公共施設及び民間施設における公開空地や広場などの公共的空間。

か行	
グランドレベル	地面そのものや、まちにいて自然に視界に入ってくる風景、建物の1階を指す表現のこと。
グリーンインフラ	自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方のこと。
高次都市機能	商業・業務、教育・文化、福祉・医療などの都市機能のうち、広域の人々を対象として、質の高いサービスを提供する機能のこと。
コワーキングスペース	個人事業主やフリーランスで活動する方、在宅勤務の会社員などが、他の人と場所を共有して仕事を行う作業スペースのこと。
コンパクト・プラス・ネットワーク	人口減少・高齢化が進むなか、地域の活力を維持するため、住宅及び医療、福祉、商業など生活に関連する施設の誘導と、それと連携した公共交通に関する施策を講じることにより、コンパクトなまちづくりを実現するもの。

さ行	
再生可能エネルギー	太陽光、風力、水力、地熱及びバイオマス（動植物由来の有機物）など、自然環境の中で繰り返し起こる現象から取り出すエネルギーの総称。枯渇しない、どこにでも存在する、CO <sub>2</sub> を排出しない、などの特徴がある。
シェアサイクル	複数のサイクルポート（貸出・返却拠点）を設置して、どこのサイクルポートでも自転車の貸出・返却が自由に行えるシステムのこと。
シティブランディング	目標とする都市のイメージを共有し、それらに対する共感や信頼などを通じて、人々にとっての都市の価値を高めていく戦略的な活動のこと。
スタートアップ	新しいビジネスモデルを考えて、新たな市場を開拓し、社会に新しい価値を提供し、貢献することにより、事業の評価を短期間で飛躍的に高める企業のこと。
スマートシティ	ICTなどの新技術を活用し、都市や地域の機能やサービスを効率化・高度化し、都市や地域の抱える諸課題の解決を図るとともに、快適性や利便性など新たな価値を創出する、持続可能な都市又はその取り組みのこと。

た行	
低未利用地	用途に供されていない空き地、空き家・空き店舗の存する土地等のこと。
デジタルサイネージ	屋外・店頭・公共空間・交通機関など、あらゆる場所で、ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するメディアの総称。
都市再生緊急整備地域	都市再生特別措置法に基づき、都市の再生の拠点として、都市開発事業などにより緊急かつ重点的に市街地の整備を推進すべき地域として、政令で指定されるもの。
都市のスポンジ化	都市の内部で空き地や空き家がランダムに数多く発生し、多数の小さな穴を持つスポンジのように都市の密度が低下すること。
ドローン	無人で遠隔操作や自動制御によって飛行できる航空機の総称。

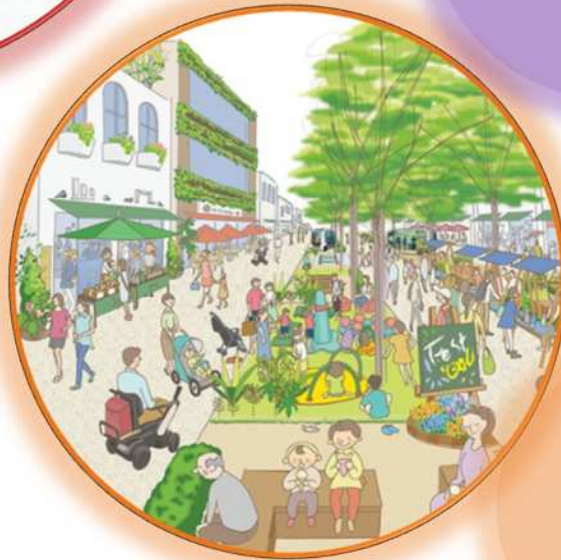
な行	
にいがた2km（ニキロ）	新潟駅周辺・万代・万代島・古町をつなぐ約2kmの都心軸周辺エリアの呼称。

は行	
パーソナルモビリティ	1人乗りのコンパクトな移動支援機器のことで、電動キックボードやセグウェイ等が該当する。
バリアフリー	高齢者や障がい者が社会生活をしていくうえでバリア（障壁）となるものを除去するという考え方。
フレキシブル	柔軟性があり、しなやかなさまを意味する表現のこと。

ほこみち制度	ほこみちは「歩行者利便増進道路」の愛称で、道路を「通行」以外の目的で柔軟に利用できるようにする制度のこと。この制度によって道路空間を活用する際に必要となる道路占用（※）許可が柔軟に認められるようになる。 ※道路占用とは、道路にモノを設置し、継続して使うことを道路法では「占用」という。
歩車共存道路	歩道と車道の境界の無い道路のこと。
ポータルサイト	インターネットを利用する際に、最初の入り口となるウェブサイトのこと。

ま行	
メタバース	インターネット上に構築された3次元の仮想空間やそのサービスのこと。

英数字（ ）内は一般的な読み方	
A R（エイアール）	AR (Augmented Reality) とは、仮想空間の情報やコンテンツを現実世界に重ね合わせて表示することなどにより、現実を拡張する技術や仕組みのこと。日本語では拡張現実と呼ばれている。
B R T（ビーアールティー）	BRT (Bus Rapid Transit) とは、走行空間、車両、運行管理等に様々な工夫を施すことにより、速達性、定時性、輸送力について、従来のバスよりも高度な性能を発揮し、他の交通機関との接続性を高めるなど利用者に高い利便性を提供する次世代のバスシステムのこと。日本語ではバス高速輸送システムと呼ばれる。
D X（デジタルトランスフォーメーション）	DX (Digital Transformation) とはITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる、という概念で、「企業がテクノロジーを利用して事業の業績や対象範囲を根底から変化させる」という意味合いで用いられる。
M a a S（マース）	MaaS (Mobility as a Service) とは、複数のモビリティ（移動）を1つのサービスとして捉え、円滑につなぐ新たな移動サービスのこと。
S D G s（エスディージーズ）	Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標「誰一人取り残さない (leave no one behind)」のことで、持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられた。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されている。
S o c i e t y 5 . 0（ソサエティー5.0）	サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会 (Society) のこと。
V R（ブイアール）	VR (Virtual Reality) とは、コンピュータによって創り出された仮想的な空間などを現実であるかのように疑似体験できる仕組みのこと。日本語では仮想現実などと呼ばれる。



## 新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン

2023年3月

【編集・発行】新潟市 都市政策部

〒951-8554 新潟市中央区古町通7番町1010番地

TEL 025-226-2711

E-MAIL [niigata2km@city.niigata.lg.jp](mailto:niigata2km@city.niigata.lg.jp)